

### (3班) 5 賀未咲帆さん 玉南中学校 「体育館の冷暖房設置について」

玉南中学校 3年、賀未咲帆です。

私は学校体育館への冷暖房設置について提案します。

近年地球温暖化が進み、夏場は厳しい外気温になってきており、熱中症などの体調不良者が7月から9月までの間で玉南中学校でも10名程度見受けられました。

また、玉南中学校では、「熱中症予防対策温湿度計」の熱中症危険度を参考にして体育の授業内容を決めています。「熱中症予防対策温湿度計」とは、暑さ指数を判断するための簡易的な測定器具で、熱中症予防のために使われています。今年の夏も、複数回「運動は原則中止」の範囲に達し、体育の授業内容が短縮されることがありました。当初の予定通りに試合をすることができず、生徒からは「エアコンがあるならもっと楽しめたのに」という声も挙がりました。

そこで、体育館のエアコン設置について私たちが学校内でアンケートを取ったところ、48%もの生徒が「熱中症対策の為にエアコンを設置してほしい」と回答しました。次に多かったのは、「避難所として使用する際の暑さ、寒さに備えて」で、これは全体の25%を占めていました。私も体育館を避難所として使用する際、暑さや寒さが玉名市民の健康に影響を及ぼすのではないかと考えます。こういったことから、学校体育館に冷暖房の設置を提案します。以上です。

●資料(アンケート結果、写真)

### 答弁者：教育部長

玉南中学校 賀未 咲帆 議員ご質問の「体育館への冷暖房設置について」お答えいたします。

議員の質問にもありましたように、近年の地球温暖化の進行により、日本の夏は、想定以上に長く暑くなり、猛暑、酷暑の日々が続くようになりました。それに伴い、熱中症予防の観点から、屋外はもとより屋内でも運動を制限せざるを得ない状況になっていることも承知しています。そのような観点から、小中学校体育館に空調設備が必要だろうというご意見、至極ごもつともな意見と思います。

確かに、本市の小中学校体育館は空調設備を備えていません。これは、玉名市だけではなく他の自治体においてもほぼ同様です。なぜかといいますと、校舎や体育館を建設する際には、国（文部科学省）からの補助金があり、その基準に沿って建設しますが、これまでは、空調設備を設置することを想定されていませんでした。ですから、どうしても断熱性能が高くない建物となっていて、そこで空調（冷房）を入れても、冷気が逃げてしまいますので、電気料金が高くなったり、空調設備自体に大きな負荷がかかったりすることになります。

一方、大雨や台風等で災害の危険がある場合、玉名市でも多くの避難所を開設しています。その際、皆さんが通っている中学校を避難所として開設することもあります。1次避難所として利用している桃田の体育館など5つの施設は空調設備がありますが、2次避難所として位置付けている小中学校の体育館には空調設備がありません。今年、8月末に台風10号が接近した際、玉名中学校と玉南中学校の体育館を避難所として開設していますので、体育館の空調設備の整備は防災の面からも喫緊の課題と認識しております。

このようなことから、国（文部科学省）では、体育館本体の建替えや全面的な改修工事に併せ、断熱性能を確保した上で空調を設置する場合に補助する方針となりました。よって、断熱性を確保する方策等の検討を行い、必要に応じて活用可能な補助事業を利用し、小中学校体育館の空調整備については前向きに検討してまいりたいと考えています。

【資料】

